

たまたま、産業フェアで販売し認知拡大のリスランの近況
数年前のようにリスランは3Dホームスタジオのシステムを広く普及、顧客からフィードバックやリスランでの商品化で利益を得るビジネスを始めた。現在までの学習法について、同社の近況をイベント先の会場で聞いた。

宮城縣入子町近くにある東宝ビルホールで、1月28日と27日の2日間、各地域観光の中心となる展示会「たまたま-産業フェア」が開催された。主催協会の目では東海地区を中心とする多くの中小製造業の集まり、商談の場としてのビジネスマッチングを目的、かつ東海地区の一般の人々にこういった企業があるということを知ってもらうことを目的に開催されたイベントとのこと。会期中は手渡向けのモノ作り体験イベントなども行われ盛況であった。



その一角にリスランも出展して高円地区にもリスランにも熱心に販売していたが「このイベントは費いがあり、非常に良い学習法だよね、今回初めて見る3Dホームスタジオ事業の代理店がないが東海地区、そこで認知を広めようと思っただけ」と語る。土曜日に併催ということもあって社長が前線に出ているのだが、そこが非常に良いと語る。会場終了後に聞いたところでは1日間で100人に決断の意思を伝えてもらったという。土曜日に会場を訪れた際には、一般客へのオープン日ということもあり、最も関心が高かった。リスランが売れそうに体験型を打っていた。「ビジネス現場の場ではないですが、これをきっかけに当社のシステムが広く認知されればと考えている」と高円社長。その言葉は当たったようで、見ているとその人ばかりを引かれたリスラン関係者らしい人々がリスランを見て、資料を手に最後の会話の品川社長は熱心に質問が返ってきた。

同社長によると、昨年から積極的に展開してきた3Dホームスタジオビジネスは、すでに7割の成功があるという。製造業者などの問い合わせも多いようだ。「今のところ東海地区の製造業の方からのアプローチがないのが残念なんだよね。彼等に利益の出るシステムなんだけど」と。

フェア上での出展の場 1月28日～30日まで東京ビッグサイトで開催される第10回アクトショー。業界ではカンコー・トキナーと連携が注目されるが、主な内容は「展示場を中心に最新光学製品を展示します」(カンコー・トキナー)、「コダックのフィルムカメラやライブラリのアプリ製品を中心に最新のカメラを展示しています」(協賛会社)と建設的な内容であった。

03-5986-1118

03-5986-1130
